令和７年度

歳入歳出決算補充説明

人　事　委　員　会

人事委員会関係の令和７年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

【歳入決算】　　単位：円

款　　項　　目	予算現額	調定額	収入済額
12 繰入金			
2 基金繰入金			
1 基金繰入金	3,414,000	3,414,000	3,414,000
14 諸収入			
5 受託事業収入			
1 総務関係受託事業収入	14,000	14,000	14,000
8 雑入			
2 雑入	78,000	63,576	63,576
合　　計	3,506,000	3,491,576	3,491,576

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「令和７年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」１２８頁の第１２款 繰入金、第２項 基金繰入金、第１目 基金繰入金のうち、人事委員会関係分については、予算現額、収入済額とも３４１万４千円であります。これは、財政調整基金繰入金を職員の人件費に充当したものであります。

１３６頁の第１４款 諸収入、第５項 受託事業収入、第１目 総務関係受託事業収入については、予算現額、収入済額とも１万４千円であります。

また、１４２頁の第８項 雑入、第２目 雑入のうち、人事委員会関係分については、予算現額７万８千円に対し、収入済額が６万３，５７６円であります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算現額３５０万６千円に対し、収入済額３４９万１，５７６円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳出決算】　　単位：円

款　　項　　目	予算現額(A)	支出済額(B)	差引(A-B)
2 総務費			
9 人事委員会費			
1 人事委員会費	144,749,000	143,229,784	1,519,216
合　　計	144,749,000	143,229,784	1,519,216

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

２４８頁の第２款 総務費、第９項 人事委員会費、第１目 人事委員会費については、予算現額１億４，４７４万９千円に対し、支出済額は１億４，３２２万９，７８４円、不用額は
１５１万９，２１６円であります。

支出済額の内訳としましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費、給与関係調査に要した経費、各種競争試験等の実施に要した経費、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費であります。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の令和７年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

令和７年度

歳 入 歳 出 決 算 補 充 説 明

監査委員事務局

令和７年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係につきまして、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

「令和７年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の１４２頁の第１４款 諸収入、第８項 雑入、第２目 雑入のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額３万１千円に対し、収入済額が５万４，３８６円です。これは、会計年度任用職員等に係る雇用保険料の本人負担分であります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】　　単位：円

款　項　目	予算現額	調定額	収入済額
14　諸収入			
8　雑入			
2　雑入	31,000	54,386	54,386
合　計	31,000	54,386	54,386

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。
２５０頁になります。

第２款 総務費、第１０項 監査委員費、第１目 監査委員費のうち、監査委員事務局関係分は、予算現額２億２，１７３万５千円に対し、支出済額は２億２，０２４万３，９３１円、不用額は１４９万１，０６９円です。
支出済額の内訳は、監査委員や事務局職員の人件費、監査業務に要した事務費です。

主な事業内容としては、定期監査、財政的援助団体等監査及び住民監査請求に基づく監査を行いました。

また、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算審査、健全化判断比率及び資金不足比率の審査並びに内部統制評価報告書の審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の令和７年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】 単位：円

款　項　目	予算現額（A）	支出済額（B）	差引（A-B）
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	221,735,000	220,243,931	1,491,069
合　計	221,735,000	220,243,931	1,491,069

令和７年度

歳入歳出決算補充説明

出　　納　　局

令和７年度三重県一般会計歳入歳出決算の出納局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【出納局歳入決算概要】　（単位：円）

款　項　目	予算現額	調定額	収入済額
10　財産収入			
2　財産売払収入			
2　物品売払収入	3,015,000	3,030,775	3,030,775
14　諸収入			
2　県預金利子			
1　県預金利子	97,256,000	97,509,240	97,509,240
8　雑入			
1　小切手未払資金組入	51,152,000	53,289,311	53,289,311
2　雑入	10,562,000	9,278,654	9,278,654
15　県債			
1　県債			
1　総務債	121,000,000	121,000,000	121,000,000
出納局関係分　計	282,985,000	284,107,980	284,107,980

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「令和７年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の120頁をご覧ください。

120頁の第10款「財産収入」第２項「財産売払収入」のうち、出納局関係は、

予算現額　301万5,000円
調定額、収入済額　303万　775円

となっております。これは、不用物品の売却によるものです。

132頁の第14款「諸収入」第２項「県預金利子」のうち、出納局関係は、

予算現額　9,725万6,000円
調定額、収入済額　9,750万9,240円

となっております。これは、歳計現金の運用益です。

続いて、142 頁の第 8 項「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額　　6,171 万 4,000 円
調定額、収入済額　　6,256 万 7,965 円

となっております。内訳の主なものについては、小切手未払資金組入であり、税の還付金のうち小切手等を振出して一年を経過したものを歳入として組入したものです。

148 頁の第 15 款「県債」第 1 項「県債」のうち、出納局関係は、

予算現額　　1 億 2,100 万円
調定額、収入済額　　1 億 2,100 万円

となっております。これは、三重県電子調達システムの再構築等に係る起債充当分です。

【出納局歳出決算概要】　　（単位：円）

款　項　目	予算現額	支出済額	不用額
2　総務費			
1　総務管理費			
1　一般管理費	350,501,000	348,154,519	2,346,481
9　会計管理費	522,391,000	516,213,681	6,177,319
出納局関係分　　計	872,892,000	864,368,200	8,523,800

次に、歳出についてご説明申し上げます。

180 頁の第 2 款「総務費」第 1 項「総務管理費」第 1 目「一般管理費」のうち、出納局関係は、

予算現額　　3 億 5,050 万 1,000 円
支出済額　　3 億 4,815 万 4,519 円
不用額　　234 万 6,481 円

となっております。これは、出納局職員の人件費です。

また、190 頁の第 9 目「会計管理費」につきましては、

予算現額　　5 億 2,239 万 1,000 円
支出済額　　5 億 1,621 万 3,681 円
不用額　　617 万 7,319 円

となっております。支出済額の主なものは、財務会計システム及び電子調達システム（物件等）の運用に要した経費、証紙販売手数料及び会計年度任用職員の人件費等です。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の 4 種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

606 頁の次頁以降が「財産に関する調書」となっており、同調書の 13 頁から 25 頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【37 基金の状況　総括表】

区分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不動産	土地	－ ㎡	－ ㎡	－ ㎡
	建物	－ ㎡	－ ㎡	－ ㎡
動産		486,674 点	50,154 点	536,828 点
有価証券		(51,726,106,578 円) 51,726,106,578 円	(5,620,986,320 円) 5,620,986,320 円	(57,347,092,898 円) 57,347,092,898 円
現金		(129,050,728,310 円) 138,005,461,088 円	(9,477,281,591 円) 8,971,431,982 円	(138,528,009,901 円) 146,976,893,070 円
計		(180,776,834,888 円) 189,731,567,666 円	(15,098,267,911 円) 14,592,418,302 円	(195,875,102,799 円) 204,323,985,968 円

注）(　)内は、出納整理期間を含めた積立・取崩後の額。

令和7年度決算にかかる37基金を合わせた出納整理期間後の決算年度末現在高は、1,958億7,510万2,799円で、前年度末現在高に比べ、150億9,826万7,911円増加しております。

なお、基金については、確実かつ効率的に運用し、
7億6,966万862円の運用益がございました。

続きまして、令和7年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご意見をいただきました事項に対する、出納局の取組をご説明申し上げます。

財産管理等につきましては、物品購入利活用書を活用した高額物品の適切な取得・管理等、「みえ物品利活用方針」に基づく取組を進め、物品全般について適切な取得・管理・利活用・処分を図っています。

資金の運用につきましては、資金の需給をより正確に把握するとともに、金利動向等を見据え、債券運用の割合を高めるなど、引き続き、安全かつ効率的な資金運用を行っていきます。

以上をもちまして、令和 7 年度決算並びに財産についての説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

令和７年度

歳入歳出決算補充説明書

議会事務局

令和７年度三重県一般会計歳入歳出決算の議会事務局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【議会事務局歳入決算概要】　　（単位：円）

款　項　目	予算現額	調定額	収入済額
10　財産収入			
2　財産売払収入			
2　物品売払収入	114,000	113,300	113,300
14　諸収入			
8　雑入			
2　雑入	49,548,000	49,549,260	49,549,260
15　県債			
1　県債			
15　議会債	25,000,000	25,000,000	25,000,000
合　計	74,662,000	74,662,560	74,662,560

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「令和７年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」120頁をご覧願います。

第10款「財産収入」第２項「財産売払収入」第２目「物品売払収入」のうち、議会事務局関係分は、

予算現額　　11万4,000円
調定額　　11万3,300円
収入済額　　11万3,300円

となっております。これは、公用車の売り払い収入であります。

次に、142頁の第14款「諸収入」第８項「雑入」第２目「雑入」のうち、議会事務局関係分は、

予算現額　　4,954万8,000円
調定額　　4,954万9,260円
収入済額　　4,954万9,260円

となっております。収入済額のうち主なものは、令和６年度に交付した政務活動費のうち、実績額との差額が返還されたものであります。

次に、174 頁の第 15 款「県債」第１項「県債」第 15 目「議会債」は、

予算現額　　2,500 万円
調定額　　2,500 万円
収入済額　　2,500 万円

となっております。これは、委員会室音響設備等更新工事に 2,300 万円、公用車購入に 200 万円充当したものであります。

【議会事務局歳出決算概要】　（単位：円）

款　項　目	予算現額	支出済額	不用額
1　議会費			
1　議会費			
1　議会費	1,486,185,000	1,475,101,754	11,083,246
合　計	1,486,185,000	1,475,101,754	11,083,246

次に、歳出についてご説明申し上げます。

176 頁の第１款「議会費」第１項「議会費」第１目「議会費」は、

予算現額　　14 億 8,618 万 5,000 円
支出済額　　14 億 7,510 万 1,754 円
不用額　　1,108 万 3,246 円

となっております。

支出済額の内訳は、

議員報酬等に要した経費　　7 億 1,355 万 6,076 円
議会運営に要した経費　　4 億 7,118 万 8,620 円
事務局職員の人件費　　2 億 9,035 万 7,058 円

であります。

以上をもちまして、議会事務局関係の令和７年度三重県一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。